

### 災害にまつわる石碑などをめぐる

四国災害アーカイブスでは、できるだけ災害にまつわる石碑・痕跡などの写真や位置情報を掲載するようにしています。それは、アーカイブスを利用される皆さんが、いつか石碑などを訪れて、改めて災害や地域のことを考えるきっかけにいただければと考えているからです。

石碑・痕跡がどこにあるのかは、多くの場合、収集した資料による情報が頼りで、先人が残した貴重な記録に日々感謝しています。しかし、石碑などの位置が変わったり、対象となるお寺が廃寺になっていることもあり、現地に向かう前に下準備をして、最新の情報を加えて、石碑などの位置をおおよそ把握してから現地を訪ねることとしています。

事前の準備で資料等不備で位置が絞り込めない場合には、目的物が見当たらないこともあります。山奥で誰にも尋ねることができない時にはひたすら自力で探しますが、通常は地元の人にお聞きします。役場やお店、道で出会う人、田畑で作業をしている人などに教えていただきます。何人かに尋ねると、大体、目的地にたどり着くことができますし、関連情報も入手できます。ですから、アーカイブスで石碑などの写真や位置情報を提供する作業は私ども事務局だけで行っていることではなく、四国各地の皆さんとの共同作業でもあると思っています。

香川県のある町役場を訪ねたことがあります。江戸時代にこの地域の干ばつ被害を救うために用水路づくりに尽力した人物の石碑を教えてもらうためでした。受付の若い女性職員は、すぐに位置を正確に教えてくれました。これは驚きでした。若い人の場合には、通常は、年配の方に取り次いでくれたり、他の部署を紹介してくれたりすることが多かったからです。たまたまこの女性がその石碑を知っていたのかも知れませんが、その時には、石碑の人物が郷土の偉人として、おじいさんやおばあさんなどのご家族からこの女性に伝えられたり、学校などで教わったりしている様子が浮かんできました。地域の恩人を慕い、昔からの石碑などを大事にしている地域には、そんな雰囲気があるように感じます。後で分かったことですが、この町の小学校の社会科副読本には、この人物の偉業や石碑などが記されていました。

一方、石碑などの中には、何気なく見過ごされているように感じられるものもあります。長年の風雨にさらされて石碑の文字が判読できない場合や、漢文や文語体の文章が現代人には読みにくいいため、石碑などがあることは分かっているけど、その意味が知られていないこともあります。解説のための案内があればいいのですが、案内もなく、草や苔に覆われている石碑などもあります。そういう時には、残念な気持ちになります。アーカイブスで紹介することにより、石碑などが地域で大切にされるようになれば嬉しいです。

石碑などの写真や位置情報を提供するには手間がかかります。半日かかってようやく一つの目的物にたどり着くこともありますので、災害にまつわる石碑などをすべてを網羅することはできません。しかし、四国各地の石碑などには災害の歴史やそれに立ち向かってきた人々の思いなどが刻まれていますので、地元の皆さんのご協力を得て、できるだけ多くの石碑などをめぐり、情報を提供する地味な取り組みを続けていきたいと思っています。